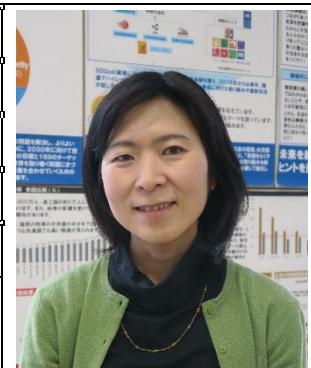


地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	<input type="radio"/>		
	地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	<input type="radio"/>		
	地域コミュニティ・集落再生		環境	<input checked="" type="radio"/>		
	地域交通・情報通信		まちづくり	<input checked="" type="radio"/>		
ふりがな	ほしの ともこ					
氏名	星野 智子					
所属	名称	一般社団法人 環境パートナーシップ会議				
所属	役職	代表理事				
連絡	住所 (職場)	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B1F				
	連絡先	e-mail	hoshino[アットマーク]epc.or.jp			
	連絡方法	TEL 03-3407-8107		FAX 03-5468-8406		
略歴	○経済産業省のリビングラボに関するプラットフォーム構築・実証事業の委託を受けて、地域社会課題の解決を目的としたラボ運営の基本的な枠組みを開発・実証。埼玉県所沢市、岩手県岩手郡岩手町などにて実践。					
著作・論文等	冬幻舎『地球が危ない』(共著) 社団法人日本青年奉仕協会『ボランティア白書 2003』 環境パートナーシップオフィス『環境パートナーシップ概況 2004』 SUSPON『持続可能な未来をつくるボランティアのためのガイド』(共著) 「持続可能な社会をつくる教育事典」(共著)					
取組概要	環境省と国連大学の共同事業である「地球環境パートナーシッププラザ」の運営業務に関わり、環境教育、持続可能な地域づくり、生物多様性保全、NPO活動支援、ボランティア活動の普及、地球規模課題の普及啓発など、環境政策コミュニケーターとして、多様な主体との対話づくり、パートナーシップ構築を日々行っている。 地域における青年・女性の役割に重視しており、活動サポートに注力してきた。 1994年に青年環境団体で開発したイベントごみリサイクルのためのボランティアコーディネートは今では全国で見られるようになった。東京2020大会に向けてはサステナビリティの視点とボランティアについて普及啓発するなどNPOのネットワーク団体の副代表を務めた。 安全な食の普及とエコツーリズムに関心があり、毎年田んぼに通い、生産者と消費者の交流の場を作っている。また仕事とプライベートで多くの農山漁村・島を訪れ、ヨソ者視点で地元住民との交流、地元産品の研究を各地で行っている。 2019年からは千葉県における有機農業推進の運動に参加し、市民や行政との連携などを担当している。					



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

登録期間 令和7年10月1日～令和8年9月30日

メッセージ	元気で幸せな人が住む地域をつくり、維持するためにはそこにいるすべてのタイプの人の意見と気持ちが反映されていることが重要だと考えています。そして次世代のことも考え、良い環境を残すにはどうしたらいいか、多様な人たちと合意形成をし、未来を描く作業が必要です。美味しい食べ物、空気、水、美しい景観を保てるよう、多くの人たちと一緒に考える機会を作っていくたいと思います。
関連ホームページ	http://www.geoc.jp/ http://www.epc.or.jp/
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。